

**【質問】フルティフォーム過量吸入時の対処は？**

**【回答】**

全身作用が発現した場合には、以下の適切な処置を行ってください。

(解説)

過量投与により起こる可能性のある症状と、その対処法は以下の通りです。

・ホルモテロールフマル酸塩水和物

動悸、頻脈、不整脈、振戦、頭痛及び筋痙攣等、 $\beta$  刺激剤の薬理学的作用による全身作用が発現する可能性があります。また、重篤な症状として、血圧低下、代謝性アシドーシス、低カリウム血症、高血糖、心室性不整脈あるいは心停止等が発現する可能性があります。このような症状がみられた場合には本剤の投与を中止し、適切な処置を行ってください。

・フルチカゾンプロピオン酸エステル

副腎皮質機能抑制等の全身性の作用がみられることがあります。副腎皮質機能が抑制されている患者においては、外傷、手術、感染、本剤の急速な減量時等に急性副腎皮質機能不全が発現する可能性があります。過量投与後に本剤を減量する際は、患者の管理を十分に行いながら徐々に行ってください。

出典：添付文書